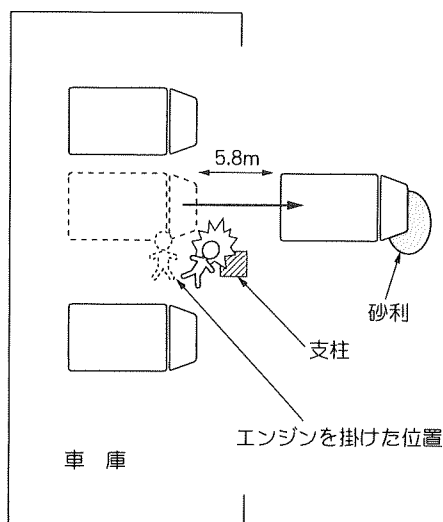


事例 30 急発進したトラックと車庫の柱に挟まれ被災

発生日時	12月某日午前9時30分頃	天候	
道路状況	約190㎡の車庫内		
事故災害の内容・程度	車体と車庫の支柱に頭部を挟まれ死亡した。		

見取図



発生状況

荷を受取りに行くため、営業所の車庫内に止めてあった4トントラックのドアを開け、運転席外からエンジンをかけたところ、ギヤがローに入っていたため、急発進し、運転者が車体と車庫の支柱に挟まれ死亡したもの。

災害原因となった問題点（危険要因）

被災者が次のことを確認せずに、運転席外からトラックのエンジンをかけたこと。

- ① 当該トラックのサイドブレーキがかかっていなかったこと。
- ② 当該トラックのギヤがローに入っていたこと。

災害防止対策

- 1 運転席外からエンジンをかけた場合、車両のトラブルにとっさに対応できないので、運転席以外からエンジンをかけることを禁止すること。
- 2 運転者が運転席から離れる場合は、確実にサイドブレーキをかけること。
- 3 坂道等の特殊な場合以外は、ギヤを入れたまま車両を停車させないこと。なお、車両を停車させる場合は、車止めを使用させるようにすること。
- 4 運転者に対し、車両の取扱いの基本的事項を再教育すること。